

○ 委員長報告

2月定例本会議で報告された環境保健福祉委員長報告は、以下のとおりです。

令和3年2月定例会

環境保健福祉委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、原子力防災対策の充実・強化についてであります。

このことについて一部の委員から、原子力防災訓練の検証結果を踏まえ、今後、どのように取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、今年度の原子力防災訓練では、新型コロナ対策を重点項目に掲げ、感染防止対策と放射線防護措置の両立に取り組むとともに、ドローンによる代替避難経路の状況把握など新たな取り組みも行ったところである。また、住民アンケートや専門機関の分析評価等を踏まえ、来年度は、避難経路の線形改良やドローンのシステム改修に取り組むほか、感染防止対策として、船舶内でのゾーニングや別便搬送の訓練を検討することとしている。

今後とも、検証と改善を積み重ね、訓練内容のブラッシュアップを図るなど、「防災対策に終わりなし」の信念の下、原子力防災対策の一層の充実・強化に取り組んでいく旨の答弁がありました。

第2点は、SNS等ネット中傷対策についてであります。

このことについて一部の委員から、SNS等ネット中傷対策事業の具体的な内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、インターネット上の人権侵害事案については、これまでも相談対応等に取り組んでおり、また、新型コロナに関する誹謗中傷については、知事自らが機会あるごとに注意を呼び掛けるとともに、昨年10月からは「STOP! コロナ差別 愛顔を守ろう」キャンペーンを展開しているところであるが、いまだSNS等での誹謗中傷が解消されない状況である。

このため、本事業により、県や市町、関係機関等が連携し、インターネット上の人権侵害等への対応力の強化を目的としたネットワーク会議や相談支援体制の強化に向けた研修会の開催のほか、掲示板サイトのモニタリングや県下全域での啓発活動の実施などにより、人権侵害の解消に取り組んでいく旨の答弁がありました。

第3点は、地域枠医師の養成及び配置の状況についてであります。

このことについて一部の委員から、地域枠医師の養成者数と配置の現状はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、平成21年度に地域医療医師確保奨学金制度が創設されてから、これまでに約210人に奨学金が貸与されている。

既に50人が、医師免許取得後の2年間の臨床研修を終え、自らが専攻する診療科のスキルを高めながら、県内各地の医療機関で地域医療に従事しており、このうち、1期生の内科医1名は専門医資格を取得し、市町のニーズを踏まえて、医師が不足する地域の医療機関で勤務している。

今後も、毎年15人から20人程度の地域枠医師が、県内各地の医療機関に配置される見込みであり、令和10年度には、最大141人の医師が配置されることになる旨の答弁がありました。

このほか、

- ・新たな避難行動の定着促進
- ・防災士の活用等
- ・ねんりんピックえひめ大会の準備状況
- ・新型コロナワクチン接種の進捗状況
- ・本県の自殺者の状況と相談体制

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。